

1.基本姿勢（背景・目的）

1-1. 観光振興計画改定の主旨

前計画（網走市観光振興計画 2014）策定後 5 年を経過し、その間の観光市場の変化と拡大は目覚ましいものがあります。特にインバウンドの増加は著しく、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、全国各地で様々な事業や受入れ体制整備が行われています。

前計画に関する進捗状況は、多様なツールを活用しての「話題づくり」や、網走の「オンリーワン」の開拓の面で一定程度の進捗を見ることができ、2018 年度観光入込客数目標に対しても 2017 年度で 162 万人（達成率 95.3%）まで迫っています。一方で、「泊まってこそ楽しめる網走」の魅力開発や「網走観光ネックレス化」の推進では、スポーツツーリズムや網走の面としての魅力アップとプロモーション、客船誘致や広域観光推進などに取組んできましたが、宿泊化促進には課題を残し宿泊客数目標 51 万人に対しては 2017 年度で 38.5 万人（達成率 75.5%）の達成度で、引き続き取組む必要があります。

網走市では前計画で掲げた取組むべき課題に加え、観光市場の動向やニーズの変化、並びに観光事業者やその他の産業に見られる変化に応じた網走市観光のありかたを示すため、網走市観光振興計画 2019 を策定します。

本計画は、「網走市総合計画 2018－2027」に掲げる「めざすまちの姿」を踏まえ、網走市の持つ特長や地域資源の魅力・課題を整理し、今後取り組むべき方向性を示すものです。

本計画の期間は 2019 年度～2023 年度までの 5 年間とします。

1-2. めざす姿

「網走市総合計画 2018－2027」では、本格的な人口減少・少子高齢化社会の進行により、生活基盤の維持さえ困難な時代を迎えようとしている中、網走の持つさまざまな魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めることにより、この難局を乗り越え、10 年先も豊かで美しい自然の中、ひと・もの・まちが輝き続け、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちを将来像としています。

網走市の将来像

豊かな自然に

ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

本計画においては、「網走市総合計画 2018－2027」に掲げる「網走市の将来像」を踏まえ、その方向性を達成するために観光分野においてどのような視点で寄与できるかを考えます。

◎網走の魅力を高める

水と緑が織りなす美しい景観、その豊かな自然の恵みである食資源といった既存の観光資源のみならず、市内での新たな取組や活躍する人を活かしながら、磨き上げていく観光資源を増やし、来訪者のニーズに

応じた多様な楽しみかたができる観光地になることを目指します。

◎網走の活力を引き出す

観光は総合産業であり、観光・宿泊・飲食等にとどまらない多くの人が携わることによって、観光資源が豊かになり、地域の観光魅力が向上します。事業従事者や、市内に居住する住民、市内に通学する学生など、様々な人が観光に関わる接点を拡大します。このことにより、市民と観光客の交流を促進し、市民、観光客双方がともに笑顔になれるまちを目指します。

◎網走の未来をつくる

市内の商店街や中小企業を持続的に将来へ繋げていくために観光との連関を促進させます。また、市民一人ひとりが網走に愛着を持ち、安心して生きがいをもって暮らすことができ、子どもから高齢者まで、来訪者との交流を通じて生き生きと自分らしい暮らしが実現できる環境づくりを目指します。